

暴力対策マニュアル

目的 患者・家族と職員、または患者間で暴力（暴行、暴言など）の危険を感じた場合や発生した場合の対応を示し、職員および患者の安全を守る。

1. 患者・家族からの暴力に対する対応

1) 暴力の危険を感じた場合の対応

- ①患者からの暴力に関する情報を関係者で共有する。
(看護師長、主治医等への報告、申し送り、表示、その他)
- ②患者と1対1で対応しない(職員2人以上で対応する)。
部屋のドア、カーテンなどを開けておく。
- ③必要以上に患者に近づかない、逃げ道を確保しておく。
まさに暴力を受けそうになったときは、とにかく逃げる。
- ④所属の長(看護師長等)は所属の統括責任者(看護部長等)に報告し、対応を協議する。

2) 実際の暴力に対する対応

(1) 平日の日勤における対応

- ①被害者は近くにいる職員等に応援を求めると共に、所属の長(看護師長等)に状況を報告する。
- ②所属の長は「医療事故報告体制(平日)」に基づき、医療安全管理室および所属の統括責任者へ報告すると共に、主治医等と現場の対応に当たる。
- ③医療安全管理室は、状況に応じ関係者(被害者、所属の長、主治医等)を召集し、医療安全管理委員会を開催、対応を協議する。
- ④院内で暴力行為が発生した場合は、企画課専門職が警察に連絡する。

(2) 夜間・休日における対応

- ①被害者は近くにいる職員等に応援を求めると共に、管理勤務者(管理師長等)に状況を報告する。
- ②管理勤務者は3者(当直医師、管理師長、事務当直者)で対応を協議すると共に、必要に応じて「医療事故報告体制(夜間・休日)」に基づき、医療安全管理室および所属の統括責任者に連絡する。
- ③院内で暴力行為が発生した場合は、事務当直者が警察に連絡する。

(3) 傷害等に対する治療

- ①傷害に対する治療は、原則として救急外来で行う。被害者は必ず受診し、傷害

の確認を受ける。

②診察医は、日勤帯の場合は、当該科の医師または産業医とする。夜間・休日の場合は、当直医師とする。

③受診方法（カルテの作成等）については、診療部カルテを作成し、支払い方法は保留とする。

④診療費については、管理課で公務災害申請等の手続きを行う。

⑤被害者のカルテには、場所、時刻、加害者、状況、障害の状態などを具体的に記載しておく。

⑥所属の長は被害者の健康状態について把握し、所属の統括責任者等と次の事項について相談する。

ア) 被害者へのケアおよび治療（外傷の治療だけでなく、カウンセリングなどの精神的な支援や治療も含む）

イ) 被害者の家族への対応

ウ) 被害者の業務への配慮

エ) その他

(4) 器物破損に対する対応

①原則として、加害者が修理費用を負担する。

(5) 加害者（患者）に対する対応

①入院治療継続の有無は主治医等が判断する。入院治療継続が困難と判断した場合は、医療安全管理委員会で対応を検討する。

②加害者の治療費は本人負担とする。

③加害者の家族へは、状況により主治医又は看護師長等が事実を説明する。

(6) 患者カルテへの記載

①医師および看護師は、患者（加害者）のカルテにも必ず事実を記載しておく。

(7) 報告書

①所属の長（看護師長等）は、両者より事情を聴取し「暴力事故経過報告書」を作成する。

2. 患者同士の暴力に対する対応

1) 暴力行為を発見した場合

- ①近くにいた職員に応援を求め、二人を引き離す。
- ②発見者は所属の長（看護師長等）および主治医等へ連絡、所属の長は状況に応じて「医療事故報告体制」に基づき連絡する。

2) 被害者への対応

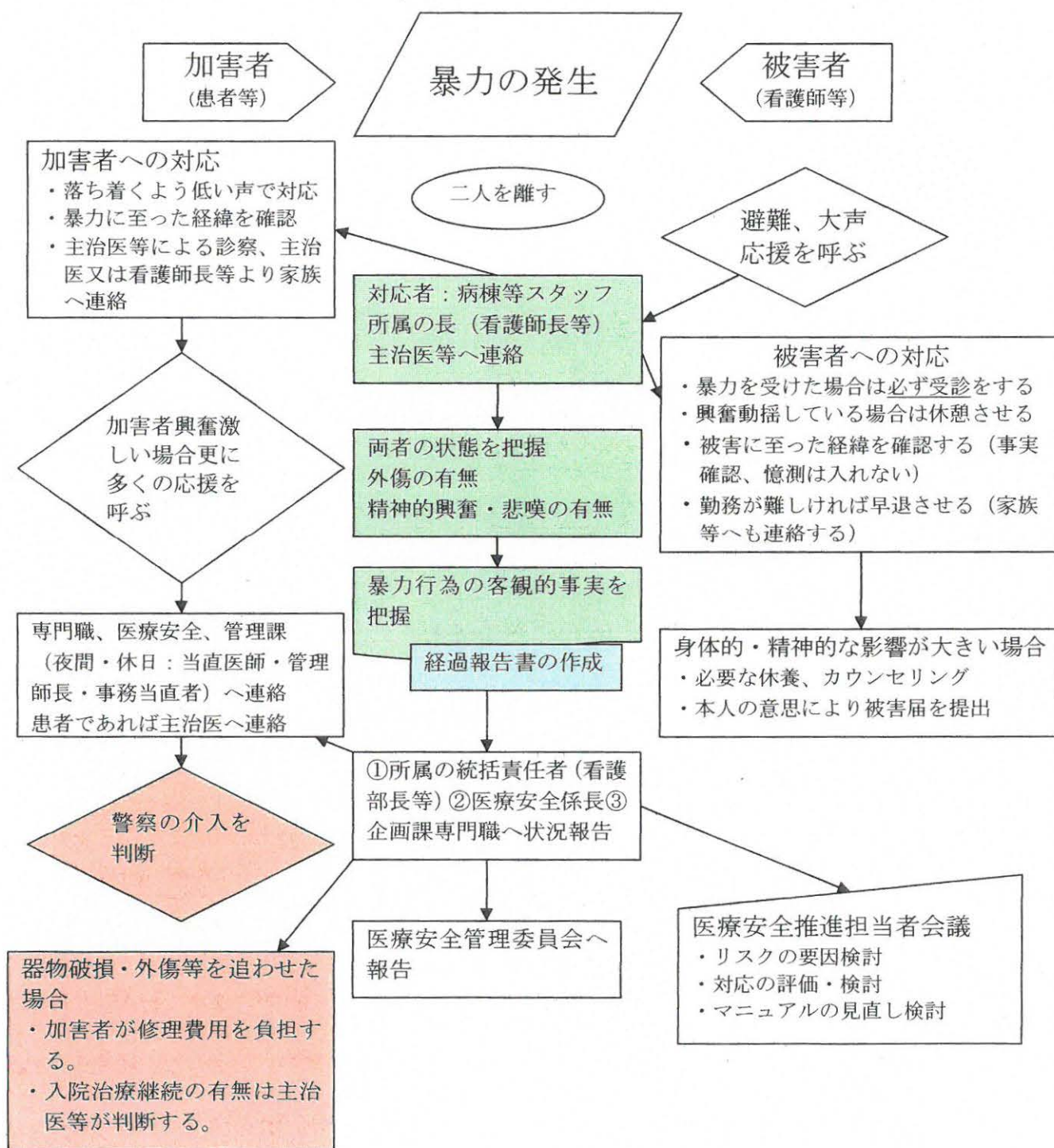
- ①外傷の有無および被害に至った経緯を確認する。
- ②家族への説明は状況により主治医又は看護師長等が行う。
- ③警察への被害届は、患者、家族が提出する。

3) 加害者への対応

- ①外傷の有無および暴力に至った経緯を確認する。
- ②家族への説明は状況により主治医又は看護師長等が行う。被害者の状況と共に、発生する治療費等について被害者家族と相談の旨、説明する。

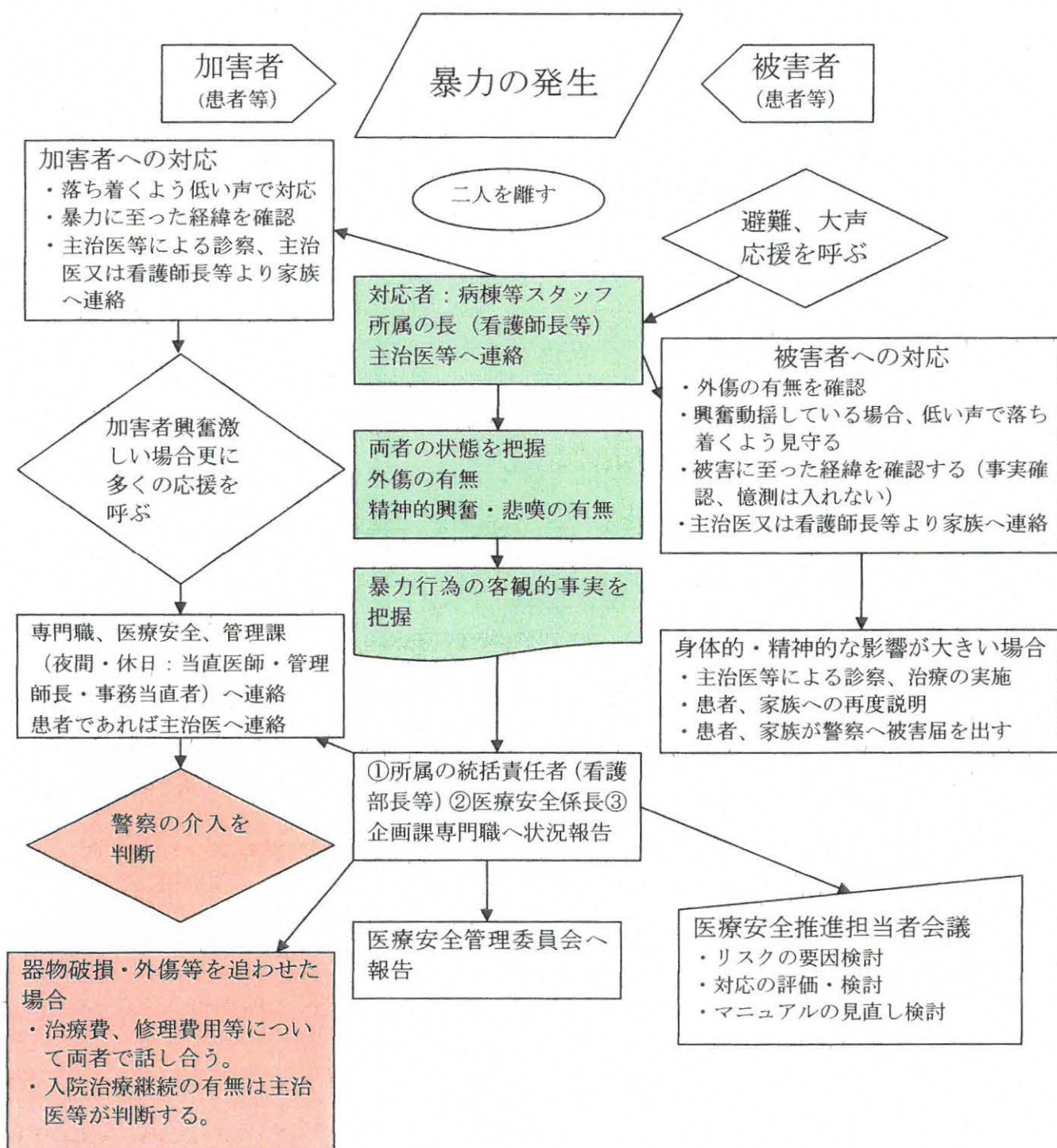
暴力対策フローチャート

病棟・外来での暴力行為発生時フローチャート (職員等が被害を受けるケース)



暴力対策フローチャート

病棟・外来での暴力行為発生時フローチャート (患者同士等のケース)



暴力事故経過報告書

報告年月日： 年 月 日

報告者：

暴力事故発生日時		年	月	日 ()	時	分	頃				
暴力事故当事者											
A 者				B 者							
氏名				氏名							
性別	男・女	年齢 ()	性別		男・女	年齢 ()					
当事者等の身分 入院患者 (家族)・外来患者 (家族) その他来院者 () 住所： 電話： 病院職員 (所属： 職名：)				当事者等の身分 入院患者 (家族)・外来患者 (家族) その他来院者 () 住所： 電話： 病院職員 (所属： 職名：)							
暴力事故の種類 (身体的暴力 言葉による暴力 性的暴力 器物破損行為)											
暴力事故の経緯											
A 者の証言・状態				B 者の証言・状態							
外傷 (有 無) 部位 創部の状態 精神的状態				外傷 (有 無) 部位 創部の状態 精神的状態							
								経過			
								経過			
対応				対応							